

令和 8 年度 第 1 回 磐田市行政経営審議会 議事録

【日 時】令和 8 年 7 月 13 日(月) 18 時 30 分から 20 時 00 分まで

【会 場】市役所本庁舎 4 階 大会議室

【出席者】

●委員 14 名

秋元富敏 委員 井上佳子 委員 大澤房男 委員 大杉幸弘 委員 小泉祐一郎 委員 小村隆史 委員 砂川利広 委員 高橋良和 委員

松本典子 委員 茂木眞佐代 委員 守谷充子 委員 藤崎淳 委員 藤森新五 委員 矢田央生 委員 (高柳裕久 委員 欠)

●事務局 4名

企画部長 政策推進課課長・グループ長・主任

【内 容】

1. 開会

2. 定足数の報告

3. 会長の選出

4. 議事 (1)「第 3 次磐田市総合計画(素案)」の修正案について

(2) 提言書(案)について

5. 事務連絡

6. 閉会

【議事①】「第3次磐田市総合計画(素案)」の修正案について

会長	総合計画に書き込むレベルのものと、事業展開レベルのものがあり、一般的にも後者が多くそれが有益である。実施段階で生かすべき知恵や提言も含めてご意見いただきたい。
委員	大きく3点について意見がある。 1点目、P44「政策の背景」の「不登校や外国人児童生徒数等の増加」について、直近では高止まり傾向にある。表題を「多様な支援を必要とする児童生徒の増加」とし、文言は、「不登校や外国人児童生徒数は高止まりの状況にありますが、多様な支援を実用とする児童生徒が増えています。」等にしたらどうか。 2点目、P45「施策と主な取組」(1)について、磐田市は小中一貫教育の推進をしていて、非常に重要な点だと思うので、「主な取組」に一行追加いただきたい。 3点目、P46「政策の背景」の「学校と地域の協働ニーズの高まり」について、磐田市では「地域とともにある学校づくり」を意識していると思うので、背景本文は「社会の総がかりの教育を推進するため、本市では全ての小中学校で、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が導入され～」としたらどうか。この表現の方が地域とともにみんなで作っていくという意味合いが強く出ると思う。また、同様の意味合いで、P47(2)「地域に開かれた」を「地域とともにある」に修正をお願いしたい。
委員	P50「政策の背景」の「単身高齢者世帯の増加」において、「孤立する高齢者への対応が課題となっています。」とあるが、頼れる身寄りのない高齢者への支援が国で2年後に施行されることになった。詳細は決まっていないが、総合計画は長いスパンのため、「孤立する高齢者や、頼れる身寄りのない高齢者への支援が必要になっています」としたらどうか。 P51(2)に該当すると思うが、「主な取組」の「・人生会議(ACP)の普及啓発と実践支援」の箇所を、「人生会議(APC)の普及啓発と、終活支援の実践」にしていきたい。 「共創への取組」について、市民の「自分らしい生き方について考え、家族と話し合おう(人生会議)」とあるが、家族がいない単身もいるので、家族や「親族と」話し合おうにしていきたい。
会長	本日以降に良い意見が思いついた場合、修正はいつまで大丈夫か。

事務局	できれば今週中にはお願いしたい。
会長	今週中に意見を出して関係課への調整も間に合うか。
事務局	7月末の議会特別委員会には間に合わないと思うが、その場合は、意見を報告して、現在調整中とする。
委員	P29「施策と主な取組(3)共生社会の推進」の「・日本人と外国人が信頼を築き、共に地域のルールを守る多文化共生の推進」について、ルールを守りながら新たな価値を生み出して共にまちづくりを行っていくという言葉にしていきたい。
会長	焼津市では、外国人で地域の推進役になる方も出てきている。もっと積極的に地域と関わっていただくという意味で担当部局と調整いただきたい。「・日本人と外国人が信頼を築き、」の部分もあえて言わずとも別の言い方があるかもしれない。地域の担い手としてやっていただくことを書いてもらえればと思う。
委員	磐田市が目指すのは、自宅にいて避難しなくてすむまちなのか、何かあったら避難してもらうまちなのか、どちらなのか。 自宅避難を推進し、自宅で過ごせる環境を推進することを長期計画には書くべきだと思っているので、「共創への取組」にある、「わたしの避難計画」を作成し、避難場所・避難経路を家族で共有しよう」という避難を前提とした表現は再度検討していただきたい。 また、「SNS等を活用した多様な情報収集手段を把握しておこう」についても、私の 80 代の母はスマホを触らない。情報収集ツールはどこまでなら期待できるか。SNS だけでなく、他の方法も含めた表現に修正していただきたい。
事務局	ご意見を担当課と共有し検討する。「共創への取組」の箇所の基本的な考え方としては、期待することの「一例」として書いてある。全ての市民に当てはめて対応をお願いしたいという趣旨ではなく、頭に入れて推進を図っていきたいという想いで記載している。「SNS 等」と記載しており、当然それぞれに応じた発信を検討している。
会長	記載の表現については、他の政策の部分との兼ね合いもあると思うので、他への反映も含めて検討してもらえればと思う。
委員	全体として、施策と主な取組で「検討」という言葉が出てくるが、取組内容が「検討」とあるのは日本語の意味としてどうか。取組にはなっていないと思うので、断言的な発言が良いと思う。

会長	今まで取り組んでいない新たな取組に関して、行政計画上は「研究」や「検討」と表現することが一般的で、計画の期間中に「検討する」と位置付けることが行政的にはとても重要な意味合いを持っている。県の計画では、語尾のチェックに時間をかけていて、研究・検討・推進のどれにするか半日かけてやっている。
委員	P27「施策と主な取組」の(3)のリード文について、企業 OB は高齢者の中に含まれると思うので、あえて記載しなくてよいと思う。また全般的な意見としては、商品券などは紙が約7割でデジタルが約3割とも聞いたが、防災周知なども含めて、デジタルを活用した取組について、どこかに要素が入っているか。
事務局	デジタルの関係は、細かな事業名は記載していないが、P75「施策と主な取組(2)行政 DX の推進」等に記載している。プレミアム商品券については、実際紙が多数であったこともあるので、市民にどうしたら DX・AI 利活用の推進ができるのか考えていきたい。
委員	企業 OB の件について、企業を退職した方ということであれば、「OG」も含めた表現の方が良い。
委員	P52「障がい児者福祉の充実」とあるが、障がい児についてあまり触れていないが、それはこどもの方に記載しているのか。
事務局	ご認識の通り、分野3のところに記載しており、ここでは再掲として「医療的ケア児への支援や発達支援に関する相談体制の強化」を掲載している。
委員	P40「政策の背景」の「遊び場と居場所ニーズの高まり」について、「天候や気温に左右されず、また障がいの有無に関わらず、」のあとに「また」が続くので、「天候や気温、障がいの有無に関わらず～」にしたらどうか。 「特別な支援を要するこども・若者の増加」については、「発達の不安」は親や周りが感じることで、その後のいじめや不登校等は、子が感じることなので、「発達の不安」は、「発達」にしたら良いと思う。 P41「共創への取組」の「市民」の「・こどもの発達に不安があれば、小さなことでも相談しよう」は、不安に思わない人もいるので、「気になったら」等の表現が良いのではないかな。

委員	【資料3】指標一覧について、No.23「将来の夢や目標を持っていますか」について、個人的には、夢や希望は無くても良いと思う。夢や希望がないこどもにネガティブな印象を与えたくないなので、この指標は無くてもよいと感じる。 No.30「英語教育状況実施調査 CEFR の A1レベル(英検3級相当)の割合」について、「英語科教諭が回答した」と指標の定義にあるが、人事異動がある先生の回答を指標とするのはどうか。 No.50「全刑法犯認知件数」について、単位が現状値と目標値で異なっているので、修正したほうが良い。
委員	P43「施策と主な取組」の「(2)地域ぐるみでこどもを育てる環境づくりの推進」の「・多世代の「まぜこぜ居場所」の充実による地域共生の推進」とは、どのようなものなのか教えてほしい。
事務局	困窮・DV など家に居場所のないこどもの居場所をつくろうというところから、こども食堂やこどもの居場所がはじまり、そこに親や地域の人もある場所にしていこうという部分から、まぜこぜ居場所になっていった。
委員	これを機に、困った人たちが同じ場所に集まって共有できる場にできていければと良いと思う。
委員	P53「共創への取組」の「地域・事業者等」の「・障害のある人の活動が制限されないよう、合理的配慮の提供を行おう」の部分だけ「障がい」が「障害」になっているので、修正すべきだと思う。
会長	【資料3】について、指標の達成が目的と誤解する人もいるが、指標は、進捗を図るものさしにすぎない。成果指標ではない指標も入っているし、成果指標と今はあまり言わないので、「指標の一覧」で良い。

【議事②】提言書(案)について

委員	提言書の1枚目に「記」とあるが、「計画を具体化するにあたっては、“次の点”に配慮されるよう申し添えます」にある「次の点」を「下記の点」にしたほうが良い。
委員	「分野 3 子育て・こども・若者・教育について」のところでは、「小中一体校の整備」の記載のみで、「小中一貫教育」が入っていない。すべての学校で一体校が望まれているわけではないと思うので、「小中一体校の整備」に加え、「小中一貫教育の推進」も入れた方が良い。「コミュニティスクールの推進」のところは、地域とともにある学校づくりとしてかなり力を入れているところなので、もう少し強めの表現にして、地域とともに活性化していく文脈にしてほしい。
委員	内容的には、あまり異論はないが、言葉の表現のところでの意見。 全体の部分の「2. ウェルビーイング指標の活用と市民への周知」のところは、「市民にわかりやすく“周知することに加え”、継続的な調査と分析を“行うとともに”、実効性のある～」よりは、「周知する“とともに”、継続的な調査と分析を“通じて”、実効性のある～」の方が良い。 「分野1 産業・雇用について」は、「～産業構造の多角化が課題となっている。そのため～産業構造の多角化を図ること。」と、同じ表現を繰り返しているので、「産業のすそ野の拡大が課題」とするか、「産業のすそ野の拡大を図る」のいずれかに変更すると良い。 「分野 2 自治・共生・スポーツ・文化・観光について」は、「・ジュビロ磐田、静岡ブルーレヴズ、卓球」について、「サッカー・ラグビー・卓球」にしたほうがよい。 「分野 4 福祉・健康について」は、「すべての人に対し、必要な時に必要な“サービスを受けること”ができる～」に違和感があるので、「すべての人がサービスを受けることができる」または、「全ての人にサービスを提供できる」にしたほうが良い。 「分野 5 防災減災・消防・安全について」は、「迅速で正確な情報を市民に確実に届ける仕組みを“充実すること”」よりも、「させること」のほうが良い。

委員	「分野 6 都市基盤・環境について」は、「“人口減少社会”においても暮らしの質を維持できるよう、持続可能な都市基盤の構築と環境保全が求められている。“人口減少・少子高齢化社会”を」とあるが、冒頭を「人口減少時代」にした方が良い。 「分野 7 行政経営について」は、「自主財源の確保や真に必要な施策への重点的な予算配分“を行い”、～」は、「配分に努め」のほうが良い。 冒頭のリード文に記載の、「～一定の評価をいたします。」に違和感があるが、意図はあるか。
事務局	前回も同様の表現であったため、この表現としたが、この点に関して、委員のみなさんのご意見をいただきたい。
委員	「一定の評価」という表現は、評価はするけどちょっと・・・というニュアンスを感じてしまう。「分野ごとに的確な記述がなされているものと評価いたします。」とした方が良い。
会長	わたしも同様に「分野ごとに的確な記述がなされているものと評価いたします。」で良い。（他の委員も賛同）
委員	「分野 2 自治・共生・スポーツ・文化・観光について」は、「ジュビロ磐田、静岡ブルーレヴズ」は資源だから逆に残して良いと思う。「卓球」はスポーツ名になってしまうので、卓球の人材や何か資源となるものにした方が良い。
委員	「分野 6 都市基盤・環境について」は、「増加する空き家に対し、発生抑制と有効活用の両面から対策を推進し、良好な住環境の維持を図ること。」とあるが、計画書では地域活性化と両面やると書いてあるので、「～維持と地域活性化を図ること。」とした方が良い。
委員	「分野 7 行政経営について」の「AI 活用や手続きのオンライン化により、利便性の高い行政サービスを提供するとともに、職員の業務効率化を図ること。」について、市として AI を活用すると業務効率が図れると思うが、スモール市役所を目指しているのか、考えはあるか。

事務局	AI 分野は先日もデジタル庁に行って話をしたり、AX 推進計画を策定したりと、本格的に進めていこうと考えている。 LINE を活用した市役所の窓口機能の充実を図っていき、市役所に来なくても様々な手続きができるようにこれから拡大していこうと考えているのでしっかりと進めていきたい。
会長	提言については、会長と副会長が代表して市長を訪問し、提言書とともに、本日の意見を反映させた計画案を添えて8月頃に提言する形を考えている。 また「計画」と「提言書」に関する本日の修正内容の確認については、時間の関係もあるので、会長一任とさせていただきたいと思うが、いかがでしょうか。
委員	異議なし